警鐘レポート5　血管内治療時の大腿動脈穿刺に伴う後腹膜出血による死亡
事例4
＜事例概要＞ ・80歳代。下肢閉塞性動脈硬化症（大腿膝窩動脈閉塞）で経皮的血管形成術を施行。抗血栓薬の服用なし。 ・血管内治療時に大腿動脈を複数回穿刺。治療中、血圧が低下し、心拍40～50/分台。治療後、止血デバイスおよび用手圧迫で止血し、帰室。約1時間後、刺入部の出血なし。約2時間後、心拍が低下。頸動脈触知が微弱なため昇圧剤を投与したが、帰室から約3時間後に死亡。 ・解剖有、Ai有（死亡後、後腹膜出血を確認）